



行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No-result"



二セ社長詐欺事案が判明しました 二セ警察官が横行した昨年。今度は社長出現です

1月23日付の千葉県警察本部からの通報によりますと、千葉県内で会社社長になりすまし、メールで指定した口座に送金させる詐欺事例が報告。いわゆる「ビジネスメール詐欺」です。

具体的には、犯罪者側がインターネット上で公開されている会社のメールアドレス宛に、会社社長や取引先などになりすまし、業務命令を装って送金させるものです。送金先が海外の金融口座となっている場合が多く、いったん送金してしまうと回収はほぼ不可能となります。

ビジネスメール詐欺に関する詳しい資料(P27 に及ぶ PDF スライド)はこちらから閲覧可能です。以下、IPA(独立行政法人・情報処理推進機構)の公式サイト情報です。

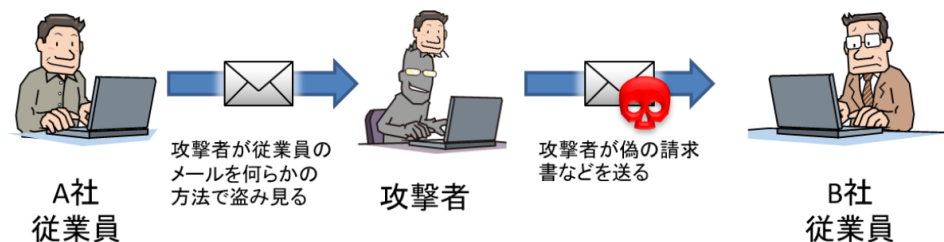


タイプ1：取引先との請求書の偽装

このタイプは、取引先等と請求に係るやりとりをメールなどで行っている際に、攻撃者が取引先になりすまし、攻撃者の用意した口座に差し替えた偽の請求書を送り付け、振り込みをさせるというものです。このとき、攻撃者は取引に係るメールのやりとりをなんらかの方法によって事前に盗み見て、取引や請求に関する情報や、関係している従業員のメールアドレスや氏名等を入手していることがあります。

攻撃者は最終的に支払側の企業の担当者を騙し、攻撃者の口座へ送金をさせようとしています。IPAでは、海外の企業と取引を行っている企業で多く確認しています。

この手口は、「偽の請求書詐欺 (The Bogus Invoice Scheme)」や、「サプライヤー詐欺 (The Supplier Swindle)」、「請求書偽装の手口 (Invoice Modification Scheme)」などと呼ばれています。



タイプ2：経営者等へのなりすまし

このタイプは、攻撃者が企業の経営者や企業幹部（役員）などになりすまし、企業の従業員に攻撃者の用意した口座へ振り込みをさせるというものです。このとき、事前に攻撃者はなんらかの方法によって、企業の役員などのメールアドレスを調べ、より本物らしくなりすましを行う場合もあります。

攻撃先としては、企業内の財務・経理担当者といった金銭管理を行う部門が狙われる傾向にあります。IPAでは、「秘密の案件で相談がある」や、「相談したいことがあるので少し時間があるか」といった経営層からの問い合わせを装う手口を多く確認しています。

この手口は、「CEO詐欺 (CEO Fraud)」や、「企業幹部詐欺 (Business Executive Scam)」、「なりすまし詐欺 (Masquerading)」などと呼ばれています。

